

ムラタ塾

# 地下鉄のデザインソリューション

—国際都市大阪に相応しい地下鉄の駅をユーザー目線で考える—

異なる会社に属し、年齢も様々なメンバーが、大阪について議論しました。国内外から訪れる人たちが、安心でき、また来たいと思ってくれるために大切なこと—ムラタ塾では、この視点を第一に、デザインを通して解決できることを抽出しました。



## 大阪市営地下鉄をテーマに

大阪都市交通の大動脈かつ真ん中に位置する「大阪市営地下鉄」。大阪全体を觀察し、その可能性に着目しました。今、大阪の都市交通システムが大きく変わろうとしています。大阪府と関西鉄道事業者6社によるネットワーク拡大計画(図2)。今以上の「わかりやすさ・安全・楽しみ」を利用者へ提供するなかで、大阪をより好きになってもらうきっかけがあると考えました。



図1 観察写真

## 地下鉄の問題、そして解決

切符購入→ホーム→乗車→目的地到着。この一連の現状は果たして便利でしょうか。例えば、乗車券購入時、天井近くの運賃表と手元の券売機を何度も見返し時間がかかる。ヘッドホンをして、電車の接近に気づかないホームの人。情報が多過ぎて駅名を聞き取りにくい車内アナウンス。駅に着いても出口を探して立ち往生する。日本人である私たちが感じるなら、外国から来た方はさらに困惑するはず。これら地下鉄全体の問題をピックアップし、解決案を導きました(図3・4)。

## 地下鉄の個性と大阪の資産

大阪市営地下鉄には伝統と文化が息づいています。第7代大阪市長 関一(せき・はじめ)氏の「世界に恥じないものをつくる」という志から生まれた建築空間。梅田の照明、淀屋橋のホーム、本町の壁面タイルなど、開業区間の梅田駅〜心齋橋駅には当時の姿が見受けられます。この視覚的資産を生かしながら、新しい機能を付加していくことができれば、単に文化財を残して古びるのではなく、文化財を継承し創り重ねていき、他にはない大阪の個性が表現された集客装置になりえるのではと思います。

乗りやすさというおもてなし、身近な駅からの文化継承、これらの積み重ねが「国際都市大阪」を成長させ、さらなる魅力を開花させてくれると願っています。

(文：上田 美穂)



図2 大阪交通ネットワークの拡大  
※掲載の各鉄道会社ロゴやサービスマークはそれぞれの登録商標です



図3 (上) 動線に沿った運賃表の設置/券売機のタッチパネル工夫 (下) ホーム柵は、優先位置などサイン表示として活用

場面	問題点	解決案	効果
駅に入る <人口や周辺>	駅名表示がわかりにくい 案内表示が不足している 駅構内が複雑で迷いやすい	駅名表示を大きく見やすくする 案内表示を増やす 駅構内をシンプルにする	駅名表示がわかりやすくなる 案内表示が充実する 駅構内がシンプルになる
駅の中 <通路・車内>	通路が狭い 車内が混雑する 音がうるさい	通路を広くする 車内を広くする 音を小さくする	通路が広くなる 車内が広くなる 音が小さくなる
乗車券を買う <券売機・運賃表>	券売機が操作しにくい 運賃表が見にくい 券売機が故障しやすい	券売機を操作しやすくする 運賃表を見やすくする 券売機を故障しにくくする	券売機が操作しやすくなる 運賃表が見やすくなる 券売機が故障しにくくなる
電車を持つ <ホーム>	ホームが狭い 電車の接近がわからない ホームが汚れている	ホームを広くする 電車の接近をわかりやすくする ホームをきれいにする	ホームが広くなる 電車の接近がわかりやすくなる ホームがきれいになる
電車に乗る <乗りこみ>	乗車券が足りない 乗車券が足りない 乗車券が足りない	乗車券をわかりやすくする 乗車券をわかりやすくする 乗車券をわかりやすくする	乗車券がわかりやすくなる 乗車券がわかりやすくなる 乗車券がわかりやすくなる
駅に到着 <出口や周辺>	出口がわかりにくい 周辺が複雑 周辺が汚れている	出口をわかりやすくする 周辺をシンプルにする 周辺をきれいにする	出口がわかりやすくなる 周辺がシンプルになる 周辺がきれいになる
地上に出る	地上が複雑 地上が汚れている 地上が危険	地上をシンプルにする 地上をきれいにする 地上を安全にする	地上がシンプルになる 地上がきれいになる 地上が安全になる

図4 行為のデザインによる地下鉄解決案